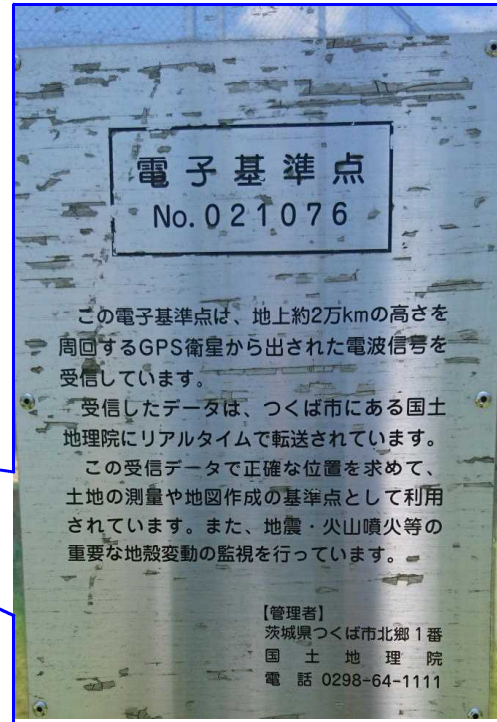


正解は、イの「電子基準点」です

電子基準点とは

全国約1,300ヶ所に設置されたGNSS（衛星測位システム）連続観測点です。外観は高さ5mのステンレス製ピラーで、上部にGNSS衛星からの電波を受信するアンテナ、内部には受信機と通信用機器等が格納されています。基礎部には、電子基準点付属標と呼ばれる金属標が埋設してあり、トータルステーション等を用いる測量にも利用できるようになっています。



電子基準点の役割

1 地殻変動の監視

全国の電子基準点で取得された観測データをもとに、地震や火山の活動に起因する地殻変動を把握することで、そのメカニズムを明らかにしています。また、日本周辺のプレート運動が日々実測され、例えばゆっくり地震などといった他の観測手段では捉えられない現象を捉えることができます。GEONETは地殻変動観測に欠かせない基本的な観測網としての役割を果たしています。

2 電子基準点を利用した測量

GNSSによる測量では、既知点と新点にGNSS機器を設置し相対測位（干渉測位）を行い、既知点からの位置関係を測定して測定点の座標を割り出します。

電子基準点を既知点として用いることで、利用者が自分で既知点にGNSS機器の設置を行う必要がなくなります。国土院が提供する電子基準点データを利用し、新点でGNSS観測を行うだけで新点の座標を得ることができるため、作業の効率化が図られます。このように電子基準点は、GNSSを用いた測量のインフラとして活用されています。

岩野小学校には、こんなすごいものまであるんです。